

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 鳥居 康子
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916



表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 3月定例会の概要……………【P.2】
- 予算大綱質疑……………【P.5】
- 一般質問（8議員が登壇）……………【P.7】
- 常任委員会だより……………【P.11】
- 特別委員会中間報告……………【P.12】



伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

南から来た
火山の贈りもの
伊豆の魅力の世界に発信



平成27年3月定例会

平成27年度一般会計予算を賛成多数で可決！ 8 特別会計、2 企業会計についても可決



3月定例会を2月20日から3月19日までの28日間の会期で開会しました。

■市議会3月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第42号	伊東市行政手続条例の一部を改正する条例	行政手続法の一部改正に伴い、市民の権利利益の保護の充実のための手続を整備するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第43号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、地方教育行政における責任の明確化や首長との連携強化などを目的として所要の改正を行うもので、関係条例（全4条例）を一括改正	市長	賛成多数で可決
市議第44号	伊東市議会議員等の報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例	成年被後見人の選挙権の回復等のための公職選挙法等の一部を改正する法律の施行に伴い、指定病院等の不在者投票において、外部立会人を立ち会わせることが努力義務とされたことによる条例改正	市長	全会一致で可決
市議第45号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	給与の適正化を図る観点から、通勤のため自動車等を使用する職員に対して支給する通勤手当を引き下げるための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第46号	伊東市職員等退職手当支給条例の一部を改正する条例	国家公務員退職手当法の一部改正に伴い、退職した職員の職責に応じて加算する調整額を改定するための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第47号	伊東市私法上の債権の放棄に関する条例	今後徴収が見込まれない債権に対して適正な債権管理を実施していくため、時効の援用等がなくても債権放棄ができるよう、基準を定めるために制定	市長	全会一致で可決
市議第48号	伊東市競輪施設改善基金条例	伊東温泉競輪場の市有施設、設備等の改善に資する事業に必要な資金を積み立てるため、伊東市競輪施設改善基金条例を設置	市長	賛成多数で可決
市議第49号	伊東市保育の実施に関する条例を廃止する条例	保育に欠ける事由に関し、条例ではなく、子ども・子育て支援法施行規則に定める事由により保育を実施することとなるために廃止	市長	全会一致で可決
市議第50号	伊東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例	子ども・子育て支援法の施行に伴い、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額について、必要な事項を定めるために制定	市長	全会一致で可決
市議第51号	伊東市立保育所条例の一部を改正する条例	子ども・子育て支援法の施行に伴い、保育の範囲、保育料に関する規定等について必要な改正を行うための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第52号	伊東市介護保険条例の一部を改正する条例	第6期介護保険事業計画期間の介護給付費等の推計と、政令等の一部改正に基づき、介護保険料の改定を行うことを主な内容とする条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第53号	伊東市祝金条例の一部を改正する条例	経済的負担の軽減を図るため、第1子及び第2子に対する贈呈額を増額するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第54号	伊東市立夜間救急医療センター条例の一部を改正する条例	夜間診療に係る医師の負担軽減及び医師の確保を目的として、診療時間を午後7時から午後11時までの間に短縮するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第55号	伊東市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	診療科目に救急科を加え、土曜日を休診とするための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第56号	伊東市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	耐用年数30年を経過した木造戸建て市営住宅28戸を用途廃止するための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第57号	伊東市教育長の勤務時間、休日、休暇等に関する条例	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育長の勤務時間等に関する条例の全部改正	市長	全会一致で可決
市議第58号	駿東伊豆地区消防通信指令事務協議会規約の変更について	地方自治法の一部改正に伴う引用条項の整理	市長	全会一致で可決
市議第59号	駿東伊豆地区消防救急広域化協議会規約の変更について	地方自治法の一部改正に伴う引用条項の整理	市長	全会一致で可決
市議第60号	駿東伊豆消防組合への加入について	駿東伊豆消防組合に加入することに関し、地方自治法の規定に基づく議決	市長	賛成多数で可決
市議第61号	市営住宅明渡し等請求に係る訴えの提起について	市営住宅の明渡し並びに未納家賃及び損害賠償金の支払いを命ずる判決を求めるため、訴えの提起に係る議決	市長	全会一致で可決
市議第62号	平成26年度伊東市一般会計補正予算（第6号）	不足が見込まれる扶助費等の追加、県の補助を活用したジオサイト等の整備事業費の計上にあわせ、各種事務事業経費の整理など、1億8,002万8,000円の減額	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第63号	平成26年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	歳出では国庫支出金の減額に伴って、補助事業等を縮小したことによる管きょポンプ場建設事業や改築事業等の減額など、歳入では国庫支出金や市債の減額など、5,582万1,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第64号	平成26年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第4号）	一般会計への繰出金の増額や競輪施設改善基金への積立金を計上するとともに、経費節約を図ったことなどから開催事業費の減額など、予算規模の変更はなく増減同額の組み替え	市長	全会一致で可決
市議第65号	平成26年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳出では一般被保険者療養給付費や一般被保険者高額療養費を増額するとともに、退職被保険者等療養給付費や後期高齢者支援金等の減額、各種事務経費等の整理など、歳入では療養給付費等に係る国庫支出金や一般会計繰入金、保険給付等支払準備基金繰入金の計上など、1億9,031万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第66号	平成26年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	歳出では人件費や各種事務経費などの整理をするとともに、個人番号制度に対応するためのシステム改修委託料を平成27年度当初予算に振り替えるための減額など、歳入では一般会計繰入金の減額など、256万9,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第67号	平成26年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	歳出では広域連合に納付する保険料負担金を減額するとともに、人件費や各種事務経費などの整理や個人番号制度に対応するためのシステム改修委託料の減額など、歳入では保険料の減を見込むとともに、一般会計の事務費繰入金の減額など、1,177万7,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第68号	平成26年度伊東市病院事業会計補正予算（第2号）	収益的収入は155万6,000円の減額、収益的支出は1,145万4,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第69号	平成26年度伊東市水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入は7,621万4,000円の減額、収益的支出は696万4,000円の減額、資本的収入は133万7,000円の減額、資本的支出は191万9,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第70号 と 市議第80号	平成27年度伊東市一般会計予算、以下、8特別会計と2企業会計	※予算の概要については、下表をごらんください。	市長	下表をごらんください。
市議第81号	平成26年度伊東市一般会計補正予算（第7号）	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金などを活用し、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策と本市独自の地域経済活性化策を切れ目なく実施するため、プレミアム商品券事業など、1億2,324万9,000円の追加	市長	全会一致で可決
市選第3号・ 市選第4号	副市長選任の同意について	原 崇氏（湯川）再任 佐藤活也氏（川奈）新任	市長	全会一致で選任に同意
発議第22号	看護職員の勤務環境の改善を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 7名	全会一致で可決

■平成27年度各会計予算				
◎=全会一致で可決、○=賛成多数で可決（単位：千円、%）				
区 分		当初予算額	前年度対比	審議結果
一 般 会 計		25,400,000	107.4	○
特 別 会 計	下 水 道 事 業	2,046,000	%	◎
	競 輪 事 業	15,010,000	97.3%	○
	国民健康保険事業	12,260,000	88.4%	◎
	土 地 取 得	200	112.0	◎
	霊 園 事 業	26,400	%	◎
	介 護 保 険 事 業	6,850,400	87.0%	○
	介護老人保健施設	85,700	27.3%	◎
	後期高齢者医療	1,596,000	105.5	◎
病 院 事 業 会 計		888,616	%	◎
水 道 事 業 会 計		2,681,262	100.0	◎
合 計		66,844,578	%	—

※病院事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

■主な新規事業（全体では67の新規事業があります。） （千円）
○個人番号カード発行等事業 ……25,074
○生活困窮者自立支援事業 ……22,859
○新保健福祉施設建設事業 ……126,500
○つくし保育園運営委託及び運営補助事業 ……67,453
○健康ＣＯＭＥ嘯む推進事業 ……3,092
○対島地区ごみ収集委託事業 ……50,000
○伊豆・いとう地魚王国事業 ……3,650
○なぎさ観光駐車場自動化学業 ……10,000
○伊豆半島ジオパークビジターセンター整備事業 ……64,943
○門脇吊橋景観整備事業 ……20,000
○伊東ゴルフメッカ推進補助事業 ……14,000
○マリントウン観光トイレ整備事業 ……80,000
○道路除草協同事業（国県市道） ……20,000
○橋りょう景観整備事業 ……60,000
○都市計画道路伊東大仁線改良事業（松原地内） ……85,788
○消防救急広域化内部情報システム等整備事業 ……62,687
○同報無線屋外子局スピーカー改良事業 ……15,000
○小中学校落下物対策事業 ……16,000
○私立幼稚園施設型給付及び一時預かり事業 ……37,248
○学校給食センター受配校整備事業 ……27,000
○生涯学習センター改修事業 ……13,000

本会議で 行なった討論 (概要)

■市議第四三号

《反対》森篤議員

新制度における新教育長の給料の額について、伊東市特別職報酬等審議会の審議を経ずに決定しようとすることは、基本原則に逸脱しており、論理に整合性を欠くとともに、手続の方法を誤っており、反対する。

■市議第四五号

《反対》重岡秀子議員

今回の条例改正によって、通勤手当が二〇〇〇円下がる職員もあり、これでは、さきの一二月議会において人勧に基づき基本給を引き上げた意味をなさない。給与に関する当局の真意が理解できず、反対する。

■市議第四六号

《反対》杉本一彦議員

中央ほどの景気回復が実感できない中、地方自治体が国家公務員の退職手当の改正に準じる必要はない。本市の経済・財政状況を勘案すると、この時期の改

正に市民の同意は得られないものと考え、反対する。

■市議第四八号・七二号

《反対》杉本一彦議員

競輪事業は、厳しい状況下にあることが予想されることから、伊東の将来に向け、なるべく早く撤退すべきであり、また、これまで一般会計に繰り出しをできなかった分まで繰り出しをすべきと考え、反対する。

■市議第五二号・七六号

《反対》重岡秀子議員

三年ごとの見直しによる介護保険料の引き上げは、制度上、やむを得ない側面を有していることは承知しているが、市民生活に影響が大きいものであることから、制度への抗議、施策への批判を込めて、反対する。

■市議第五五号

《反対》杉本一彦議員

働く子育て世代や、土曜日に交流人口が増大する観光地にとっては土曜日こそ、万全の診療体制を整備すべきであり、また、現在行われている思春期外来の重要性に鑑み、土曜日を休診日

とする本案に反対する。

■市議第六〇号

《反対》森篤議員

市民サービスの向上や具体的メリット及び財政の合理化等についての説明がなく、さらに、市長の発言権の担保もない。また、市職員のまま派遣するなら消防本部を存続させるべきではないかとして、反対する。

《反対》重岡秀子議員

消防広域化において、本市の地理的及び産業的特性を配慮した配備がされるのか心配である。

さらに、職員の身分が派遣というのも解せないことから、広域化に反対であり、本案に反対する。



平成27年度一般会計予算案起立採決

■市議第七〇号平成二十七年伊東市一般会計予算

《反対》森篤議員

消防広域化に係る一部事務組合の設立は、平成二八年四月一日予定との答弁がされた。そうであれば、広域化に係る予算が平成二七年度に予算計上されることは理解しがたい。

また、財政当局と消防本部との間で予算執行に関し、見解の相違があると思われることから反対する。

《賛成》公明党

市民幸福度向上のため、市民と行政が協働しまちづくりを進めていく「未来協知」の取り組みを、より具体的に実行していくための予算編成に取り組み、支え合う・魅力ある・安心な・活力ある地域づくりを柱に、人口減少と超高齢化を克服できる持続可能な予算としたことを高く評価する。

《反対》重岡秀子議員

市内経済の活性化や子育て・教育分野では積極的な予算もある。しかし、消防の広域化、八校のセンター

給食、対島地区のごみ収集民間委託などにおいては、議会や市民、現場等への説明、意見聴取などが不十分と考え、本市の目指す未来協知の姿勢に反するのではないかとして反対する。

《賛成》正風改革クラブ

競輪事業を収益が見込まれるまでに立て直し、財政調整基金も二六億円余まで積み増し、本市財政を立て直した手腕を評価する。

評価がえに伴う減収など歳入に懸念材料を有するが、国の地方創生事業との連携、観光産業の振興や市民生活の向上に向けて取り組みことを期待し、賛成する。

《賛成》民主党・刷新の会

中学校給食の実現に向けた市長の英断は評価するものの、防災関連事業、地域活性化関連事業、消防救急の広域化、内陸フロンティア関連事業、子育て支援、新保健福祉施設建設事業等について、公正性、公平性、透明性を求めつつ、持続可能な豊かな社会を目指した執行を要望し、賛成する。

予算大綱質疑

全会派及び会派に所属していない議員から10議員が質疑（質疑順に掲載）

※市長施政方針及び平成27年度予算の概要につきましては、広報いとう4月号をごらんください。

◎=会派代表者、会派構成議員は議席順。質疑した議員は、太字・網かけ

■正風改革クラブ

・浜田修一郎議員・榎本元彦議員
・佐山 正議員・井戸清司議員
◎佐々木 清議員・西島 彰議員
・宮崎雅薫議員・土屋 進議員

（佐々木清議員）

健康保養地づくり事業と新保健福祉施設との関連性について伺う

平成二七年度一般会計当初予算案は、対前年度比七・四％増の二五四億円となり、国が進める地方創生事業への対策費用も考慮した積極型予算として編成されたものと思料する。

上向きつつある経済を背景に、観光都市伊東が新たな時期を迎えようとしている中、市民生活の向上を目指すべく以下質疑する。

その一つとして、本市が長期間にわたって事業展開している健康保養地づくり事業と新保健福祉施設との関連性について伺う。

保健福祉の拠点施設と位置づけて整備を進める

市長

新保健福祉施設は、整備基本構想に基づき、本市が目指す将来像である「ずっと住みたい また来たい健康保養都市 いとう」の実現に向け、健康づくり、高齢者福祉・介護予防、子育て支援、交流プラザという四つの大きな機能を持った、保健福祉の拠点施設と位置づけて整備を進める。

『その他の質疑』 九項目

（榎本元彦議員）

市営サッカーグラウンド調査事業について伺う

本市のスポーツ施設建設は、かどの球場が平成七年に供用開始されて以降、新たなスポーツ施設の建設が予定されない中、市営サッカーグラウンド調査委託料として一〇〇万円が計上されている。

サッカー人口の増加、また、二〇二〇年の東京オリンピックを見据えたものと思料するが、候補地や現在の当局の考えを伺う。

用地には一定の広さを要することから情報収集や周辺環境等の調査を行いたい

市長

市内のサッカー人口の増加に伴い、サッカーグラウンド建設の要望が高まっていることは承知しているが、建設に当たっては、一定の広さの土地が必要であることから、用地の候補地等について情報収集を行い、候補地となる場所を選定した上で、周辺環境、地形、地質、概算の事業費等の調査を行いたいと考えている。

『その他の質疑』 七項目

（浜田修一郎議員）

一 伊豆・いとう地魚王国推進事業について伺う

二 伊豆・いとう地魚王国事業について伺う

静岡県の内陸フロンティア推進区域に指定された伊豆・いとう地魚王国推進事業及び伊豆・いとう地魚王国事業について、新年度における取り組みを伺う。

一 魚市場改修のための仕様書作成等への支援

二 水産業活性化に向けたソフト事業の展開

市長

いとう漁業協同組合が魚市場改修のために行う、伊東魚市場改修基本設計仕様書作成及び産地水産業強化計画策定等を支援していく。

伊豆・いとう地魚王国事業は、「伊豆・いとう地魚王国」を建国し、多くの関連業種が相互に連携する中で、地域全体で水産業の六次産業化に取り組み、地魚の普及やブランド化、付加価値を高める商品開発等、水産業活性化に向けたソフト事業を展開していく。

『その他の質疑』 九項目

■公明党

・鳥居康子議員・長沢 正議員
◎楠田一男議員

幼稚園や学校規模の適正化に係る課題解決に向けた計画について伺う

市内の園児・児童・生徒数が減少を続ける中、全国の公立学校においては、平成四年度以降の二〇年間に、高校を含め、毎年三四〇校ほどが廃校になっている。

本市の学校規模の適正化については、昨年他会派からも質疑があったが、一年が経過する中で、幼稚園や学校規模の適正化に係る課題解決に向けた計画について伺う。

より望ましい環境を整えるため慎重に対応したい

教育長

園児・児童・生徒数の減少が予測される中、子供たちにとって、より望ましい保育・教育環境を整えるためには、学校・幼稚園の規

模の適正化は避けては通れない重要課題であると認識している。

今後、「学校施設管理のあり方検討会」に基本的な考え方を示し、適正配置に伴う教育の効果や地域の実情に対する意見をいただく中で慎重に対応していきたい。

一方、幼稚園についても、教育問題懇話会の答申にある「本市における将来の市立幼稚園のありかたについて」を踏まえ、認定こども園などの検討も視野に入れながら対応していきたい。

『その他の質疑』一〇項目

■民主党・刷新の会

・四宮和彦議員◎鈴木克政議員
・浅田良弘議員

津波浸水想定及び伊豆東部火山群避難計画案に基づくハード対策及びソフト対策について伺う

県公表の「相模トラフ沿いで発生する地震の地震

動・津波浸水想定」及び伊豆東部火山群防災協議会作成の避難計画案に基づく津波対策施設等のハード対策及びハザードマップの整備や避難計画などのソフト対策に係る取り組みについて伺う。

地域の実情に沿ったハード対策を検討し、津波浸水想定や伊豆東部火山群を考慮したソフト対策を推進する市長

ハード対策については、地区協議会で地域の意見を取り入れ、実情に合った津波対策を検討していく。

ソフト対策については、津波浸水想定及び伊豆東部火山群等を考慮したハザードマップの作成及び全戸配布を予定しており、避難計画などについても、自主防災会単位での津波避難行動計画の作成を推進している。

新たな浸水想定エリアの対象となる自主防災会へも津波避難行動計画の作成を依頼し、避難対策の強化を進めていく。また、伊豆東

部火山群対策として、作成した避難計画については、訓練等を通じ、検証及び見直しを図っていく。

『その他の質疑』 八項目

■輝 21

・稲葉正仁議員・稲葉富士憲議員
◎三枝誠次議員

都市計画道路伊東大仁線改良事業について、当初予算への計上に至るまでの経過を伺う

都市計画道路伊東大仁線改良事業について、平成九年度に幅員を一七mに変更決定した後、どのような経緯を経て、平成二七年度当初予算に計上したのか伺う。

平成二七年度から道路用地の買収などに着手し、平成三二年度末の完成を目指して事業を進めていく

市長

静岡県が平成二〇年度に道路の計画幅員を一七mから元の一一mへ戻す都市計

画変更をした後、交通解析などの基礎調査を実施し、改めて県や地元関係者と道路計画の協議を再開した。

その後は、都市計画としての制約がある中で、昨年一〇月に静岡県との基本的な協議が整い、地権者から事業化に対する理解も得られたことから、懸案であった県道伊東修善寺線と国道一三五号バイパスをつなぐ約一一〇m間の整備に着手したところである。

現在、道路の測量設計や家屋の補償調査などを実施しており、平成二七年度から道路用地の買収などに着手し、平成三二年度末の完成を目指して事業を進めていく。

『その他の質疑』 一三項目

■伊東元気の会

・横沢 勇議員◎杉本一彦議員

教育指導員の各関係機関との連携状況と効果及び課題について伺う

不登校、問題行動等への対応策として、本市独自の施策として教育指導員が設置されているが、各関係機関との連携状況と、期待される効果及び今後の課題について伺う。

学校と家庭・地域社会との連携を図り、問題の改善に取り組んでいる。就学支援相談の充実が課題である

教育長

現在、教育指導員二名を配置し、児童・生徒及び保護者等の相談に対応している。学校と家庭、地域社会との連携を図る中で、問題改善に取り組み信頼関係を深めることが狙いである。

また、就学支援に係る相談体制の充実を図ることが今後の課題である。

『その他の質疑』一三項目

森篤議員

(会派に所属していない)

人口減少対策に係る事業及び期待される効果を伺う

市長

子育て支援策を拡充し、誕生祝い金贈呈事業や不妊治療費助成事業等により経済的負担の軽減を図ることで安心して子供を産み育てる環境整備が図られ、ファミリーサポートセンター事業、つくし保育園開園、母子訪問指導事業等により、共働き世帯等に対し、子育てしやすい環境整備が図られる。

『その他の質疑』

二項目

重岡秀子議員

(会派に所属していない)

対島地区のごみ収集民間委託の目的とごみ収集計画との関係を伺う

市長

収集業務の民間委託化は、伊東市ごみ処理基本計画における継続検討事項であり、ごみの減量・再資源化の推進と排出量等に応じた最適な収集体制の構築を目指す中で、全市域での廃ペットボトル収集開始と同時に同地区において進めていくことが最適と判断した。

『その他の質疑』

五項目

一般質問

8 議員が登壇/市政全般等について質問

(登壇順に掲載)

宇佐美駅の無人化に当たって、JR東日本に対しどのような協議がされ、どのような要望をされたのか伺う



正風改革クラブ
佐山 正 議員

JR東日本による伊東線四駅の無人化により宇佐美駅も無人化となることから、地域や利用者の安全性及び利便性の低下が懸念される。昨年九月の一般質問において、市長は、宇佐美駅の無人化に当たっては、JR東日本に対し、防犯・防火対策について強く要望していく旨の答弁をされたが、その後、どのような協議がされ、また、どのような要望をされたのか伺う。

宇佐美駅の無人化に対し、安全面、防犯面、サービス面などを直接要望した

市長

さきの議会でも答弁した

とおり、JR東日本横浜支社長に、無人化に対する利用者への周知徹底、安全面や防犯面、サービス面などの低下を招かない措置、駅へのエレベーター設置などのバリアフリー化推進について、直接要望した。

無人化への懸念に対しては、防犯カメラの設置や駅舎照明のLED化、入り口の段差解消や改札通路の拡幅などのバリアフリー化対策、駅舎の美化などを進めると聞いており、エレベーターの設置についても実現に向け、強く働きかけたいと考えている。

『その他の質疑』 四項目



宇佐美駅

教育格差是正のための環境整備施策について伺う



民主党・刷新の会
四宮和彦 議員

親の経済格差が子供の教育格差につながるという相関の再生産が社会格差を深刻化させると言われている。負の連鎖を断ち、地域社会を再生するためには、行政の責任において教育の機会均等を確保する必要があると考え、教育環境の整備に資する施策に関し、以下三つの観点から伺う。

一 就学扶助制度のさらなる充実

二 通学交通費補助制度の創設

三 給付型奨学金制度の拡大と充実

制度の周知を図り、利用しやすい環境を整備していく

市長

援助の必要な家庭が適切



育英奨学金制度
(日本学生支援機構・左、伊東市・右)

に申請できるように、入学説明会や年度初めに制度の周知を図っているほか、地域の相談員である民生委員にも制度理解を求めている。通学交通費補助制度の創設については、学区の設定は居住地からの距離に基づき設定するので、現状は補助制度の創設は考えていないが、障害の内容により学区を設定する特別支援学級については、公共交通機関の交通費の補助をしている。給付型奨学金制度については、高校生、大学生を対象として、給付と貸与の二種の制度を継続し、制度の周知徹底に努め、優秀な人材の育成を支援していく。

『その他の質問』 五項目

国の地方創生戦略に対する市の計画策定の手法及び時期について伺う



輝21
稲葉正仁 議員

国の地方創生戦略に係る本市の取り組みとして、大消費地である都会に近く、観光地としての魅力にあふれた本市の特徴を生かし、農業を観光業と結びつけることで、若者を引きつける。若者が夢を持てるような新しい農業の形が構築できるのではないかと考えている。例えば、本市においては、狭い面積でも商品価値の高い果樹等を栽培でき、かつ、若い夫婦が子育てをしながら農業に従事しつつ自分たちの楽しみも満喫できるような施設園芸が適していると考えているが、観光と連携した農業体験等を通じて、地元の農業者たちと観光客が触れ合う中で、移住によ



施設園芸 (ビニールハウス)

る新規就農者をふやしていくような形が考えられる。そこで、国の地方創生戦略に対する市としての施策に係る計画策定の手法及び時期について伺う。

幅広い分野及び地域の代表等、広く意見を伺いながら計画を策定していく

市長

計画については、市内で素案を検討したのち、市議会議員、教育委員会委員、農業委員会委員、公共的団体の役員、学識経験者等、「産・官・学・金・労・言」により構成された総合計画審議会において、広く意見を伺いながら、一二月末までに策定する予定である。

『その他の質問』 三項目

地方創生戦略推進のための人材確保についてどのように考えているか伺う

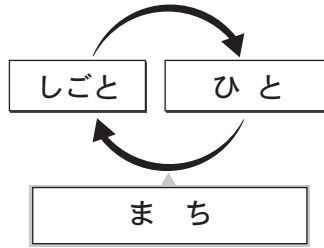


公明党
楠田一男 議員

昨年末、政府は「まち・ひと・しごと創生」推進のため、人口減少に歯止めをかけ地域活性化を目指す「長期ビジョン」と、二〇一五年度から二〇一九年度まで政策目標を定めた「総合戦略」の決定をしたところである。

それを見ると、ことしは、各自自治体が人口動向や中期の将来展望を示す「地方人口ビジョン」を定めるとともに、そうした人口動向や産業の実態を踏まえながら、人口減少に対処するための「地方版総合戦略」の策定と実施に入り、地方創生への各地域での取り組みが本格的に始動するものと思われる。

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



まち・ひと・しごと創生推進

『その他の質問』 六項目
総合戦略については、第十次基本計画と一体的に策定していくことを予定しており、庁内に「伊東市総合計画推進会議」を設置し、副市長以下、各課課長補佐、係長級までの職員により、組織的かつ総合的に立案することを考えている。

市長

庁内に「伊東市総合計画推進会議」を設置し、職員による総合戦略等の策定を考えている

そこで、本市が総合戦略を立てるための人材確保について、どのように考えているか伺う。

競輪事業から撤退すべきであると考えているが、いかがか



伊東元気の会
杉本一彦 議員

競輪事業については、売り上げの低迷により経営が悪化し、撤退する自治体がふえていることから、近年における本特別会計から一般会計への繰り出し状況を踏まえ、今後の展望を伺うとともに、本市としても、将来像を見据えた中で、競輪事業から撤退すべきと考えているが、いかがか。

私みずから率先し、積極的に事業改革を進めた結果、経営的な条件も整ってきており、撤退する考えはない

市長

ここ数年、競輪事業から撤退もしくは撤退に向け検討している自治体があることは承知しているが、本市

においては、引き受け場外発売を行うとともに、ナイター競輪の開催など、収益性の高い事業や経費の節減などに努めてきた。

これは、私みずから率先し、積極的に改革を進めてきたものであり、その結果、繰上充用金も本年度をもって解消する見込みとなり、平成一十一年度以来となる一般会計への繰り出しが可能となるなど、経営的な条件も整ってきたところである。また、全国競輪施行者協議会の副会長として、競輪界全体の制度改革を推進し、さらなる経営の健全化に努めるとともに、雇用の確保も図れることから、撤退する考えはない。

『その他の質問』 三項目



伊東温泉競輪場

消滅可能性自治体にリストアップされた本市における人口減少問題に係る取り組みについて伺う



民主党・刷新の会
浅田良弘 議員

昨年五月に公表された消滅可能性自治体リストに、県内では、本市を含む伊豆地域が大半を占めていることについて、見解を伺う。

また、国においては、まち・ひと・しごと創生法を制定し、同法に基づく地方版総合戦略の策定が注目される中、本市においても人口減少問題に係る取り組みを強化していくべきであると考えているが、対応を伺う。

総合計画を見直しながら、本市独自の対策を講じ、総合的に対応していきたい

市長

いわゆる「増田レポート」で消滅可能性都市と位

置づけられた伊豆地域においては、既に少子高齢化が進んでおり、厳しい数字が示されたものと受けとめている。

人口減少への対応については、国が昨年一二月に策定した「長期ビジョン」や「総合戦略」等を十分に勘案し、総合計画に掲げている、市民の健康増進、出産・子育て支援や保育の充実、教育環境の整備や、観光振興、市内経済の活性化、危機管理の充実などの施策について、必要に応じ見直しを行いながら、本市ならではの「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」を策定すること等により、総合的に対応していきたい。

『その他の質問』 三項目

第四次伊東市総合計画



「駿東伊豆地区広域消防
運営計画」について



森 篤 議員
(会派に所属していない)

平成二七年一月に策定した駿東伊豆地区広域消防運営計画に關し、三点伺う。

一 消防救急広域化による住民に対する消防サービスの向上について

二 広域消防運営計画の運用に当たり、改廃の影響がある条例等について

三 広域化後の伊東市消防団の所轄について

一 大規模災害時の迅速な対応及び高度消防資機材等の導入による高度な活動が可能となる

二 消防団の事務に係るものを除き、改廃をする

三 従来と同様の連携態勢を図り調整をしていく

市長

広域化により大規模災害

時の被害状況を迅速に把握でき、被害の大きな地域へ集中的な応援が可能となる。また、消防本部及び指令センターの集約により現場への増員が図れるとともに、予算規模の拡大により、特殊車両、高度消防資機材等を計画的に導入でき、高度な活動が可能となる。

広域化により、一部事務組合の加入市町から消防事務はなくなるので、消防団に係るものを除き、関係条例等を改廃することとなる。消防団については、消防組織法上では、広域化後も各市町に残るが、従来と同様の連携態勢が図られることを前提に調整していく。

『その他の質問』 二項目



伊東市消防

本市の人口減少問題を解決するため、移住促進プロジェクトチームなどを設置してはいかがか



重岡 秀子 議員
(会派に所属していない)

本市の人口動態において、転入者が転出者を上回る状況が長く続いてきたことが、少なからず人口減少を食いとめてきたと言え、本市の人口減少問題を解決するには、移住人口の増加を抜きには考えられない。

国は、総合戦略の目標の一つに、二〇二〇年に東京圏から地方への転出を四万人ふやすことを掲げ、地方移住希望者への支援体制を整えるなど、地方移住を推進するとしている。本市も移住促進を観光と並ぶ産業として位置づけ、移住促進を推進するプロジェクトチームなどを設置し、積極的に取り組む時期にきていると考えるが、いかがか。

全庁的な協力体制で取り組むべき施策と捉え、移住促進について検討したい

市長

移住者の増加は人口減少に歯止めをかけ、地域コミュニティや地域の活性化による活力ある生活圏の形成等につながるものである。

しかしながら、移住促進の施策は、多くの行政分野に關係し、雇用の場や住まいの確保、子育て環境の向上なども含めた総合的な受け入れ体制の整備などが必要であると認識している。

本市としては、全庁的な協力体制で取り組むべき施策として捉え、移住促進について検討していきたい。

『その他の質問』 六項目



閉会中の
議会活動

平成27年



※平成26年12月定例会閉会后、平成27年3月定例会開会まで

- 1月 7日 議会報編集委員会
- 2月 6日 議会改革特別委員会
- 9日 常任観光建設委員会協議会
- 16日 議会運営委員会

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、6月中旬発行予定の3月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問

ペットボトルの分別収集や対島地区におけるごみ収集の民間委託に伴う市民への周知に係る考えを伺う。

答

市民が排出に当たって混乱しないことを基本に考えており、必要に応じて広報紙やホームページ等でお知らせするとともに、状況によっては、地域に出向き説明会を実施する。

問

駿東伊豆地区広域消防運営計画が作成され、法定協議会の役割は終了したと考えるが、いつまで存続するのか伺う。

答

広域消防運営計画は基本的な考え方をまとめたもので、今後詳細な部分で、すり合わせが必要となることから、消防救急に関し必要な事項として、平成28年4月1日の運用開始まで、引き続き、協議会で準備を進めていく。



駿東伊豆地区広域消防運営計画

観光建設委員会

問

なぎさ観光駐車場の自動化に関し、24時間対応になる時期を伺う。

答

平成27年12月を予定している。



なぎさ観光駐車場

問

伊豆半島ジオパークビジターセンターの場所等を伺う。

答

伊東ビジターセンターは伊豆高原駅やまもプラザ2階に、ビジターセンター海のサテライトは伊東港に整備し、伊豆半島ジオパークの認知度向上に努める。

問

いでゆ橋景観整備工事の内容を伺う。

答

高欄の高さを現在の基準に合わせてるとともに、周辺の景観に調和したものとし、また、東海館等をバックに写真撮影ができるような形に整備していきたい。

福祉文教委員会

問

介護施設等の整備及び保険料の引き上げについて今後の見解を伺う。

答

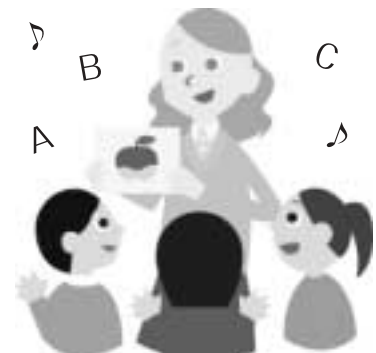
施設等の整備によっても保険料は上昇するので、要介護認定率の現状と利用及び負担のバランスを考慮し、次期計画では施設整備を最小限にとどめ、保険料の上昇を抑えるようにしていく。

問

外国人来誘客等の増加に鑑み、英語教育の充実について見解を伺う。

答

英語にかかわる機会を多角的にふやす必要があると認識する一方、カリキュラムを考慮すると調整が難しい状況にあるが、英語に親しむ機会の創出や外国人指導員の配置等について多角的に検討していきたい。



英語教育の充実を！

特別委員会 中間報告



議会改革特別委員会

議会報告会企画書を作成

◆二月六日委員会

議会報告会について、企画書を作成したが、その概要は、以下のとおりである。

報告会は、伊東市議会が主催し、「説明報告」「意見発言」「意見交換」の三点を目的として実施する。

実施時期等については、予算議会である三月定例会及び決算議会である九月定例会後の年二回で、週休日または休日の午後に実施する。

会場は、宇佐美地区、市街地、小室地区、対島地区から選定した三力所ないし四力所を想定しており、不特定多数の市民を対象に、議員と市民が向かい合う対話形式により、一回当たり二時間程度の日程で行うこととする。

また、全議員が分担して各会場の運営に当たり、会場設営は、議員と事務局職

員が協力して行うこととするが、可能であれば市民ボランティアにも協力していただく。

なお、市民への説明等に要する資料はできるだけ議員で作成することとするが、現場では、主にプロジェクト等を使用することとする。会議における発言については、議会としての発言は議会が責任を負い、議員個人としての発言は発言した議員が責任を負うものとするが、発言は記録され、その内容は報告会の報告として、議会ホームページに掲載する。

周知については、議会ホームページ、新聞、テレビ、広告等によるものとする。

以上が企画書の概要であり、委員長において、本企画書に沿い、議会報告会を実施していただきたいとする旨の報告書を議長に提出することを諮り異議なく了承され、あわせて、実施に向けての今後の協議等は、議長に一任することが確認された。

議場見学

平成二十七年二月五日(木)、東小学校の六年生(当時)が一組と二組の合同で議場見学に訪れました。



学 級 目 標

1組 あかるいあいさつ じかんを見て自分で行動
さいごまで協力 いいこといっぱい

2組

夢を掴むまで全力で

編集後記

春は、別れと出会いの季節です。

これまでお世話になった方々への感謝の念を改めて思い起こさせてくれます。そして、これから先の出会いに、希望と不安が交差します。

人との出会いは、人生における財産です。一期一会を大切にしたいと思います。
(委員長)

議会報編集委員会

委員長 稲葉富士憲
副委員長 長 沢 正
委 員 浜田修一郎
" 四 宮 和 彦
" 杉 本 一 彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ
伊東市大原二丁目一番一号
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六
次期六月定例会は六月一八
日開会の予定です。